

令和8年度 佐久市総合計画審議会第1部会（第3回） 議事録

日時：令和8年6月19日（金）
午前10時00分～11時45分
場所：佐久市役所 602会議室

【出席者】 高橋部会長、小松副部会長、遠藤委員、伊坂委員、佐々木委員
太田委員、鈴木委員、小嶋委員、三石委員、大井委員
【事務局】 市村企画部長、藤巻企画課長、小林企画調整係長、井出(吉)主任、
鷺見主任、大塚主任、中澤主任、久保田主事

○協議事項等
次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（柳澤委員）

2 議事

- (1) 第二次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理（第6章、第7章）及び
第三次佐久市総合計画の取組内容（第6章、第7章）について
質疑、意見

部会長	議題の（1）「第二次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理（第6章・第7章）及び第三次佐久市総合計画の取組内容（第6章・第7章）について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理（第6章、第7章）については、時間の都合により説明割愛 第三次佐久市総合計画の取組内容（第6章）の「防災」について基本計画策定シート【防災・安全分野】「防災」に基づき説明
部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	デジタル技術による情報伝達手段の多重化とあるが、住宅環境の変化により防災行政無線が聞こえづらくなっている。デジタル技術の関係で、聞こえにくいという状態でも、みんなに伝わるようにしていく方法を検討してほしい。
部会長	地震ならまだ聞こえるが、大雨の場合は全く聞こえない。有線放送だけではない他の手段を考えてはどうか。また一番気になるのが、「耳が聴こえない」「目が見えな

事務局	い」人たちに対してどうやって伝えていくのか。また、既存の情報配信手段の普及率をK P Iに設定することも検討してはどうか。 実際にどのようにやっていくかは、この場では回答できないが、高齢者等への対応を含め全市民に情報が伝わるのが大切だという事は担当課も承知している。さくステなど既存の情報配信手段の活用を想定しているが、普及率等の指標化についても検討したい。
委員	私が 20 数年前に区長をしていた時には、有線を引く時に、市と区、個人で1/3 ごと負担した。約 3 万円各家庭に有線を入れる時に費用がかかった。現在は、線が遮断されたりするなどの状況から、今の区長は無線にしたらどうかという話で動いているそうだ。今も昔のような補助金があるのか。それから業者の問題もある。昔は山梨の業者にお願いしたが、今はどうか。
事務局	総務課において、区からの申請により補助金を交付している。 市において業者の把握などはしていないが、施工内容によっては市内の業者でも可能ではないかとのこと。
委員	小諸の方からの防災無線と重なってしまって聞こえなくなってしまうというものもある。風向きによっても変わるので、聞こえないという問題が出てくるのではないかな。
事務局	担当課へ状況について共有する。
委員	河川や水路の改修、市街地の雨水排水施設の整備について、県管理の河川もある中で、市としてどのように対応するのか。また、市民の防災意識については、公助だけでなく自助・共助の意識を高めることが重要である。佐久市は比較的災害が少ないという意識があり、災害への備えが弱い面があるため、啓発が必要である。
事務局	県との関係が必要な事項については、市から県に伝えていく。市民の防災意識の高揚についても、意見として担当課へ共有する。
委員	防災は地区によって危険度や想定すべき災害が異なる。山間地では土砂災害、平地では浸水など、地域ごとに警戒

	すべき内容が違うため、地区ごとにリスクを把握し、防災計画や訓練に反映する必要がある。市に頼るだけではなく、地域でどう助け合うかを考えておくことが重要である。
委員	地区に少なくとも一人は防災士が必要である。ただし、防災士資格を持っていても活動に積極的でない場合もあるため、資格取得後に地域で機能する仕組みづくりが必要である。
部会長	続いて、「消防・救急」について事務局から説明をお願いする。
事務局	基本計画策定シート【防災・安全分野】「消防・救急」に基づき説明
部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	女性消防団員の確保について、女性団員は増えている一方で、その多くが音楽隊であり、広報的な役割が中心である。災害現場に出動する人員として位置付けられる女性団員とは性質が異なるため、一緒に見てしまうのはどうか。
部会長	実績値 40 名というのはただし書きが必要ではないか。あまりにも実態と齟齬が大きすぎる。検討していただきたい。
事務局	機能別団員という考え方もあり、必ずしも全ての女性団員が男性団員と同じ災害現場活動を担うものではない。
委員	地域消防体制の充実に「地域の大学等」とあるが、大学以外にどのような主体を想定しているか。また、「時代に即した消防団の在り方」とは具体的に何を想定しているのか。中学生や高校生が消防団活動を体験する機会を設けることも有効ではないか。
委員	教育関係で、地域との交流や体験を謳っている。個別に立ち上げるのではなく、広域連合で消防署へ中高生に来てもらって体験学習を進めてもらう等、そういう組み立ても必要なのではないか。またそういう事を訴える機会にしてほしい。

委員	以前は消防団員が退団する際に後任者の紹介を求められたと聞くが、現在はどのように団員を維持しているのか。
事務局	必要な定員があるため、退団時に新たな入団者の紹介を依頼することはある。
委員	人口減少の中で、消防団の役割も変わっていく。消防団の主な役割は初期消火であり、地区にいる消防団OBも組み込める仕組みが必要ではないか。
事務局	消防団の役割は初期消火に加え、残火処理も含まれる。機能別団員として、消防団協力員を消防職、消防団員OBで構成し、大規模災害時の応援や消防団活動の相談約として活動していただいている。
委員	消防団協力事業所が多いことは評価できる。毎年市内の事業所へはどんな働きかけをしているのか。
事務局	現在は市のホームページによる周知を行っている。
部会長	続いて「交通安全」について事務局から説明をお願いする。
事務局	基本計画策定シート【防災・安全分野】「交通安全」に基づき説明
部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	交通安全協会の会員が減少しており、会員がいない地区もある。以前は会員が多く、見守り活動等も充実していたが、現在は会費収入も少なく、活動の手当も十分ではない。市からの支援を検討してほしい。
事務局	担当課へ意見は共有する。
委員	交通安全環境の整備については、市の対応は早いと感じる。一方で、県道など県管理道路の対応が心配である。市民は市道・県道を区別せず利用しているため、県管理道路についても安全対策が進むよう、市から働きかけてほしい。
委員	新規の道路を作る際には、歩道を広くすることや、自転

	車通行帯の整備などが必要ではないか。また、事故が起こりやすい場所については、各地区に運転者から目立つ看板を増やすことも検討してほしい。
事務局	担当課へ意見は共有する。
部会長	続いて「防犯」について事務局から説明をお願いします。
事務局	基本計画策定シート【防災・安全分野】「防犯」に基づき説明
部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	防犯灯の新規設置について、住宅等の開発の許可の段階で、必要な箇所に事業者が設置する仕組みを検討してはどうか。学校の裏側の住宅に電気が通るまでに３年かかった。
事務局	担当課へ意見は共有する。
委員	防犯カメラの設置について、市として推奨しているのか。
事務局	防犯カメラについては、プライバシーの問題もあり、公共施設では小学校等の必要最低限の設置にとどめている。各区で設置するのであれば、各区の責任の範囲で設置してもらうことになる。設置に関する補助制度は長野県警にて行っている。
部会長	続いて「消費生活」について事務局から説明をお願いします。
事務局	基本計画策定シート【防災・安全分野】「消費生活」に基づき説明
委員	消費者被害や悪質商法について、佐久市の被害額が県下トップと聞いている。対策をしっかり進める必要がある。
部会長	手口が巧妙化しており、銀行窓口やコンビニエンスストア店員による水際対応だけでは防ぎきれない段階にある。
事務局	担当課へ意見は共有する。

部会長	続いて第7章【協働・交流分野】「市民協働・参加」について事務局から説明をお願いする。
事務局	基本計画策定シート【協働・交流分野】「市民協働・参加」に基づき説明
部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。 《特に意見なし》
部会長	特にないようなので、続いて「地域コミュニティ」について事務局から説明をお願いする。
事務局	基本計画策定シート【協働・交流分野】「地域コミュニティ」に基づき説明
部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	区の活動を支援するとの記述があるが、具体的にはどのような支援を想定しているのか。財政的支援なのか。
事務局	財政的支援に加え、区が抱える課題を整理し、対応方法を検討していくことを想定している。
委員	他自治体では、区の活動に事務員を入れて給料を払っているところもある。これまでと同じやり方を続けるだけでは、地域活動は持続しにくい。一つのイベントに対して役員を募集するという方法も紹介されていた。色々な方法を考えていかないといけない。「支援をする」と記載するのはよいが、もう少し具体化しないと分からない。
事務局	総合計画では、方針として区の活動を支援することを示す。その上で、区活動の在り方に関する事業等により、具体的な支援方法を検討していく。
部会長	続いて「行財政経営」について事務局から説明をお願いする。
事務局	基本計画策定シート【協働・交流分野】「行財政経営」に基づき説明
部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。

委員	人事評価の見直しとあるが、これまでの評価体系が不足していたということか。職員には適切な評価を受け、意欲を持って働いてほしい。
事務局	既存の評価体系を否定するものではなく、より良いものにしていくという認識である。評価体系の見直しに加え、システムを活用して職員のスキルを把握することも予定している。
委員	健全財政を示すものは比率のみなので、財政健全性を考える上では、自主財源がどの程度あるかという視点も重要である。そういう視点もうまく総合計画に反映されていく形にしてほしい。
部会長	続いて「高度情報通信ネットワーク」について事務局から説明をお願いします。
事務局	基本計画策定シート【協働・交流分野】「高度情報通信ネットワーク」に基づき説明
部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	行政手続のオンライン化率を 100%とする目標が示されているが、本当に 100%を目指すのか。
事務局	内部処理も含めて 100%を目指したい。
委員	証明書を取るのに書かない窓口を利用したが、手書きよりも手続に時間がかかった。本人が紙に書く代わりに職員が入力するだけの違いだった。タブレットが非常に入力しづらい。タブレットの反応が悪すぎて、高齢者の方とはとてもできないと思う。とにかく手続にとっても時間がかかった。デジタル化はされているが、これがスマートになったのかと言われると非常に疑問を感じる。
部会長	A I やデジタル化は導入当初、現場に戸惑いが生じると思うし定着するまで時間はかかるが、取り組まないという選択肢はなく、やっていかないといけない。皆さんが使いやすくなって慣れる事を望んでいる。業務が改善しスムーズになる事により、他の仕事に充てる時間を生み出せるようにすることが重要である。何のための業務改善なのかと

	いう事が大事だと思う。
部会長	続いて「関係人口・定住人口・交流」について事務局から説明をお願いします。
事務局	基本計画策定シート【協働・交流分野】「関係人口・定住人口・交流」に基づき説明
部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。
委員	市内には外国籍住民がいるが、姉妹都市であるモンゴルやエストニアの出身者が一人もいない。姉妹都市交流は何のために行っているのか。祭りなどで大使を招く交流にとどまらず、留学や相互交流などにより、姉妹都市との関係を市の成果につなげられるように、市として考えているのか。
事務局	指摘のとおり、移住にまで結び付いている状況ではない。従来の交流だけにとどまらず、生活や地域とのつながりにつながるような取組を検討していきたい。
委員	東京で大会があった時に、エストニアの選手を佐久市に招いて滞在してもらったりしている。こちらとしては、受入をして泊めてあげて、送り出すといった形で応援している。そういう交流も少しはある。
委員	お話の通り、スポーツの交流も進めている。私はモンゴルへ5回ほど行っているが、こどもたちのスポーツの交流は一向に進まない。姉妹都市交流と言うと、こどもたちのスポーツ交流というのは必ず出てくる。今回の茅ヶ崎との交流もスポーツの交流が出てくる。私も関係しているが、必ずこどもたちのスポーツの交流は関係して出てくる。
委員	何のために姉妹都市交流をしているのか再考したい。つながりがある事で佐久市にどういう成果があるのか。何か得るものがなければ、姉妹都市交流をする意味がない。
部会長	姉妹都市交流については、目的と手段を整理することが重要である。 続いて「広域連携」について事務局から説明をお願いします。

事務局	《基本計画策定シート【協働・交流分野】「広域連携」に基づき説明》
部会長	事務局から説明があったが、御意見・御質問はあるか。 《特に意見なし》
部会長	特にないようなので、（１）についてはこれにて議事を終了する。

（２）その他

部会長	（２）その他について、事務局から何かあるか。
事務局	本日いただいた意見については、担当課にも共有し、記載内容の調整を進める。 次回は、７月１０日（金）午前１０時から、議会棟で開催予定である。内容は、デジタル田園都市国家構想総合戦略の令和７年度進行管理に係る報告と、これまで審議いただいた第三次佐久市総合計画の取組内容について、委員からの意見を踏まえ担当課と調整した結果を報告する予定である。
部会長	全体を通して何かあるか。 《特になし》
部会長	以上で本日の全ての審議を終了とする。

３ 閉会